

2024年度 学科別授業科目一覧表（実務経験表記あり）

課程：医療専門課程

学科：臨床工学科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
9	【医療実務講座】ビジネスマナー	3	30	2	必修	講義	有
20	公衆衛生学	3	15	1	必修	講義	有
45	生体計測装置学実習	3	30	1	必修	実習	有
57	医用安全管理学実習	3	30	1	必修	実習	有
58	関連法規	3	15	1	必修	講義	有
67	【臨床医学総論3】脳神経学	3	20	1	必修	講義	有
68	【臨床医学総論3】麻酔科学・救急集中治療医学	3	15	1	必修	講義	有
70	学内実習	3	60	2	必修	実習	有
71	臨床実習	3	225	5	必修	実習	無
75	第2種ME技術実力検定演習 I (医療機器)	3	30	1	必修	演習	有
76	第2種ME技術実力検定演習 I (臨床工学)	3	30	1	必修	演習	有
77	国家試験演習	3	360	12	必修	演習	有
80	課外活動Ⅲ	3	30	1	必修	実習	無
81	放射線工学	3	30	2	必修	講義	有
82	看護学概論	3	30	2	必修	講義	有

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
独自科目 必修	講義	【医療実務講座】ビジネスマナー	道下・菅	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- ①臨床工学技士として社会に出て活躍するために、内定獲得に向けた準備を整える
- ②文章や言葉で自分を表現し、更に志望する意欲を伝えるために必要な自己表現力を身に付ける
- ③座学だけでなく演習にも注力し、本番に向けた実践力の向上を目指す

【講義概要】

- ①学生と社会人の違い、並びに医療現場実習に出る前に「医療人としての接遇」の重要性を理解し、ロールプレイ、ワークを通して実践する
- ②応募先に向けた自己PR、志望動機を作成し、応募書類に反映させる
- ③更に模擬面接を実施し、就職活動の本番に備える

回	授業計画及び学習の内容
1	医療現場で求められていること：【オリエンテーション/医療機関とは】(4/9)
2	応募書類の作成①：【自己PR/志望動機を作成】(4/16)
3	医療人としての接遇①：【表情・挨拶・身だしなみ・態度】(4/23)
4	医療人としての接遇②：【言葉遣い・電話対応】(4/30)
5	実践的なコミュニケーション術：【対応のポイント】(5/7)
6	社会人としての常識：【ビジネスマナー/仕事への姿勢】(5/14)
7	病院実習へ向けたビジネスマナー①：【演習】(5/28)
8	病院実習へ向けたビジネスマナー②：【演習】(5/28)
9	応募書類の作成②：【自己PR/志望動機を作成】(7/16)
10	応募書類の作成③：【求人票の見方/ES・履歴書の作成】(7/23)
11	応募書類の作成④：【履歴書の完成・添削】(7/30)
12	面接対策①：【模擬面接】(9/3)
13	面接対策②：【模擬面接】(9/10)
14	面接対策③：【模擬面接】(9/17)
15	面接対策④：【模擬面接】(9/24)

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	70%			30%		100%

(補足) 講義全体を100点満点として採点する。授業後の記述式テスト(2問)70点、授業への参加・意欲30点から評価を実施する。なお出席が2/3以下の場合は成績評価の対象外となるので注意すること

【教員紹介】

- ・講義形式、演習、ロールプレイなどを適宜取り入れる
- ・担当教員2名は、元日本航空株式会社の客室乗務員として長年の経験を持つ。現在は医療機関での接遇研修や実務経験が豊富で、医療機関で求められる像を十分に把握しており、就職活動に向けた授業を展開することができる

【教科書・参考文献】

- ①臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本(丸善出版)
- ②医療の接遇(医療タイムズ社著)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	公衆衛生学	山中 昭広	有	1単位 15時間

【授業の到達目標及びテーマ】

保健・医療・福祉の制度を学習し地域医療の健康を予防医学、環境の改善、健康教育を通じて理解し、自己の生活に活用する

【講義概要】

健康に悪影響を及ぼす環境や行動、社会的要因を取り除き健康に努めるための学習をする。また疾病や障害を抱えてもノーマライゼーションを検討し、QOLを高めるような知識を習得する

回	授業計画及び学習の内容
1	公衆衛生の概念： 健康の定義・予防医学の概念・疾病と障害の概念
2	疫学と衛生統計： 疫学の意義と調査方法・人口動態統計・疾病・障害統計
3	保健活動： 保健活動・母子保健・高齢者保健
4	感染症対策： 感染症法・検疫法・感染症対策
5	健康保持増進： 健康増進対策・健康診断と健康管理・生活習慣病
6	生活環境： 環境と健康・廃棄物処理・公害
7	食品衛生： 食品保健
8	食品衛生： 食品保健に関する法律・食中毒・食品の安全性
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足) 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
講義内容は理解度を確認しながら進めるとし、変更があった際は随時調整する

【教員紹介】

東京女子医科大学臨床工学部勤務 総合病院勤務し教員となる

【教科書・参考文献】

臨床工学技士標準テキスト第4版 公衆衛生が見える2022-2023

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科	2024		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数
専門	必修	実習	生体計測装置学実習	石渡 山中 高橋 土屋	有	1単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

心電計・脳波計・超音波診断装置・呼吸流量計の設定、ETC02. 酸素飽和度、心電図テレメータ、呼吸器波形測定ができ、結果について正しく判定できるよう実習で学習する。

【講義概要】

臨床工学技士として計測機器にどのように関わり計測結果より治療機器の操作につなげるかを判断できるように学習する。

回	授業計画及び学習の内容	
1	山中：A組 医療テレメータ 心電計	土屋：B組 パルスオキシメータによるSpO2測定
2	山中：B組 医療テレメータ 心電計	石渡：A組 透析療法分野
3	高橋：A組 非観血的血圧測定法の理解と実践	石渡：B組 透析療法分野
4	高橋：B組 観血的血圧測定法の理解と動脈圧波形の見方	山中：A組 呼吸器波形 ETC02
5	高橋：A組 観血的血圧測定法の理解と動脈圧波形の見方	山中：B組 呼吸器波形 ETC02
6	石渡：B組 ドップラー血流計による血流確認	土屋：A組 パルスオキシメータによるSpO2測定
7	高橋：B組 観血的血圧測定法の理解と動脈圧波形の見方	土屋：A組 心電計と誘導法及び実測
8	石渡：A組 ドップラー血流計による血流確認	土屋：B組 心電計と誘導法及び実測
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

(補足) 実習の内容と実習室はクラスによって変更となるので注意すること。
各教員の指示に従う事

【教員紹介】

山中：病院16年勤務後教員となる

石渡：大学病院、総合病院勤務後教員となる

高橋：病院14年9ヶ月勤務後教員となる

土屋：病院8年勤務後教員となる

【教科書・参考文献】

各教員より最初の実習にて説明する

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	医用安全管理学実習	山中昭広・佐藤優太	有	1単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

医療機器の安全運用に携わる職種として求められる視点と知識の習得を目指すとともに、機器を扱う技術の実践をテーマとする。また、医療機器のみならず医療現場全体の安全管理についても触れる。

【講義概要】

機器管理（特性確認・点検記録・メンテナンス）に関する実習を行う。各テーマについて班毎にローテーションで実施する。

臨床工学技士として関わる機会が多い医療安全管理について事例研究により検討する。

回	授業計画及び学習の内容
1	ガイダンス、実習時課題説明
2	ガイダンス、実習時課題説明
3	①漏れ電流の測定 1
4	②漏れ電流の測定 2
5	③接地線抵抗の測定
6	④医用電気機器の保守点検 1
7	⑤医用電気機器の保守点検 2
8	⑥医用電気機器の保守点検 3
9	⑦医療ガスの取り扱い
10	⑧消毒・滅菌の方法と物品の取り扱い
11	JMS輸液ポンプメンテナンス講習
12	JMS輸液ポンプメンテナンス講習
13	JMS輸液ポンプメンテナンス講習
14	JMS輸液ポンプメンテナンス講習
15	医療現場の安全管理：臨床実習における安全管理事例の検討
16	医療現場の安全管理：臨床実習における安全管理事例の検討

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	50%			50%		100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則としてすべての実習に出席しなければ評価の対象としない。

【教員紹介】

山中昭広：大学病院、総合病院に約16年間勤務後教員となる。透析、呼吸器、ME機器管理に従事する。

佐藤優太：臨床工学技士として病院、クリニック勤務を経て東京電子専門学校専任教員となる。

【教科書・参考文献】

臨床工学講座 医用機器安全管理学（医歯薬出版）、臨床工学技士標準テキスト（金原出版）、MEの基礎知識と安全管理学（南江堂）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	関連法規	仲尾次 政隆	有	1単位 15時間

【授業の到達目標及びテーマ】

臨床工学技士として勤務していくうえで必要となる法規について学ぶ。国家試験に出題されるような内容はもちろん、医療人として重要な法律についても説明する。

【講義概要】

臨床工学技士法はもちろん、他職種に関する法律や医療全般にかかわる法律について、さらに移植や医療安全についても浅いながらも説明していく予定。

回	授業計画及び学習の内容
1	法の概論（法律の意味や用語等の説明、臨床工学技士法の全体像など）
2	臨床工学技士法の詳細
3	他職種の法令について
4	医療法・公正取引などについて
5	臨床工学技士の業務について（業務指針）、告示研修と追加業務について
6	医療者としての責任と医療安全について
7	医薬品、医療機器等法について
8	臨床研究法、臓器移植法と認定資格について
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	76%	16%		8%		100%

（補足） 毎講義終了時の復讐テストを実施。

【教員紹介】

昭和61年本校・医学電子科卒。平成2年・臨床工学技士免許取得。平成3年ME第2種検定取得。
2023年まで関東中央病院勤務

【教科書・参考文献】

特になし（独自のプリントを用意）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	【臨床医学総論3】脳神経学	清水 潤	有	1単位 20時間

【授業の到達目標及びテーマ】

特に、神経、内分泌、免疫、腎臓における生体のホメオスターシス（恒常性）の維持に重要である機能と、関連する疾患の病態を理解し治療法を学ぶ。

【講義概要】

回 授業計画及び学習の内容

1	神経疾患総論（解剖・生理、検査、診断、治療）
2	神経疾患各論1（主要な疾患について）
3	神経疾患各論2（主要な疾患について）
4	神経疾患各論3（主要な疾患について）
5	内分泌・代謝疾患総論（解剖・生理、検査、診断、治療）
6	内分泌・代謝疾患各論1（主要な疾患について）
7	内分泌・代謝疾患各論2（主要な疾患について）
8	腎臓疾患総論（解剖・生理、検査、診断、治療）
9	腎臓疾患各論1（主要な疾患について）
10	腎臓疾患各論2（主要な疾患について）

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

（補足）
・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

聖マリアンナ医科大学 免疫学・病害 動物学 特任教授

【教科書・参考文献】

特に指定しない。あらかじめ資料を配布するので予習・復習を欠かさないこと。

東京電子専門学校 臨床工学科

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	【臨床医学総論3】麻酔科学・救急集中治療医学	中山 英人	有	1単位 15時間

【授業の到達目標及びテーマ】

外科手術には麻酔が不可欠である。麻酔科学は無痛の提供に留まらず、周術期の患者管理全般を扱う。救急医療は緊急に対応が必要な傷病者に対して病院前および病院内で提供される医療である。集中治療は死に瀕した重症患者に提供される集約的な監視、評価を含む治療である。これらの分野においてCEは重要な役割を担っており、業務に必要な知識を習得する。

【講義概要】

麻酔科学，救急医療，集中治療について，基礎的な知識から実践的な内容にわたる講義を行う

回	授業計画及び学習の内容
1	【大項目】麻酔科学 吸入麻酔と静脈麻酔
2	気管挿管と気道確保
3	全身麻酔で使用するその他の薬物 麻酔器
4	麻酔とモニタリング 麻酔と合併症 麻酔・手術と周術期
5	区域麻酔および局所麻酔 手術室内での安全管理 ペインクリニックおよび緩和医療
6	【大項目】救急医療 救急医療体制 災害医療
7	救急処置 患者管理 脳死 患者搬送
8	【大項目】集中治療 集中治療施設 患者管理
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

- (補足)
- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 - ・原則として欠席回数が1/3以上の場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

東京都立神経病院において麻酔科・ICUの責任者として21年間勤務
2013年より埼玉医科大学病院麻酔科・集中治療部教授
2023年より日本蘇生学会代表理事

【教科書・参考文献】

臨床工学技士標準テキスト 第4版

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024	3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	実習	学内実習	山中 高橋 土屋 石渡	有
単位・時間数				
2単位 60時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

病院実習において、臨床現場で行われている実際の治療に対する理解度の向上を目的とする。実習は体外循環分野・呼吸療法分野・血液浄化療法分野・治療機器分野の4分野を行う。

【講義概要】

2年次後期に履修した体外循環分野・呼吸療法分野・血液浄化療法分野・治療機器分野の各実習の振り返りを行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	高橋：治療機器学分野 土屋：体外循環分野
2	山中：呼吸療法分野
3	高橋：治療機器学分野 土屋：体外循環分野
4	高橋：治療機器学分野 土屋：体外循環分野
5	山中：呼吸療法分野
6	石渡：血液浄化療法分野
7	高橋：治療機器学分野 土屋：体外循環分野
8	石渡：血液浄化療法分野
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

(補足) 実習の内容と実習室はクラスによって変更となるので注意すること。

【教員紹介】

山中：病院16年勤務後教員となる

高橋：病院14年9ヶ月勤務後教員となる

石渡：病院13年勤務、2018年より教員となる

土屋：病院16年勤務後教員となる

【教科書・参考文献】

各教員より最初の実習にて説明する

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024	3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	実習	臨床実習	各病院臨床実習責任者	無
単位・時間数				
5単位 225時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

医療機関の社会的役割とその中における臨床工学技士が携わる業務や果たすべき役割について理解することを目的とする。

【講義概要】

これまでに学んだ知識・技術を再確認しながら臨床現場で統合し、より実践的な知識・技能について習得し、臨床工学技士としての責任感や多職種連携・協調といったチーム医療の在り方について学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	呼吸器関連業務：人工呼吸装置の点検、その他の呼吸器関連業務実習
2	人工心肺関連業務：人工心肺装置の点検、その他の人工心肺関連業務実習
3	補助循環関連業務：補助循環装置の点検、その他の補助循環関連業務実習
4	血液浄化関連業務：血液浄化装置の点検、その他の血液浄化関連業務実習
5	ペースメーカー関連業務：ペースメーカー等の点検、その他のペースメーカー関連業務実習
6	集中治療関連業務：生命維持管理装置の点検、その他の生命維持管理関連業務実習
7	手術関連業務：手術関連機器の点検、その他の手術関連機器関連業務実習
8	鏡視下手術における視野確保関連業務実習：内視鏡手術システムの点検、その他の内視鏡手術システム関連実習
9	心・血管カテーテル治療関連業務実習：カテーテル関連機器の点検、その他のカテーテル関連業務実習
10	保守点検関連業務：点検の実施、その他の点検関連業務実習
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	20%		60%	20%		100%

(補足) ・臨床実習期間中に設定されている登校日に出席すること

【教員紹介】

各病院臨床実習責任者

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024	3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	演習	第2種ME技術実力検定演習 I (臨床工学)	土屋 裕也	有
単位・時間数				
1 単位 30 時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

後天性の心血管病及びその治療や治療に使用する生命維持管理装置について理解し第2種ME実力検定試験の合格を目指す。

【講義概要】

循環器病の各論、補助循環装置について講義及び問題演習を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	後天性心疾患 不整脈① 徐脈性不整脈 洞機能不全症候群 房室ブロック
2	後天性心疾患 不整脈② 頻脈性不整脈 心房細動 心房粗動 上室性頻拍 房室結節リエントリ頻拍
3	後天性心疾患 不整脈③ WPW症候群 房室回帰頻拍 心室頻拍 心室細動
4	後天性心疾患 不整脈④ 心房期外収縮 心室期外収縮 脚ブロック Brugada症候群
5	血圧異常 高血圧 低血圧
6	大動脈疾患① 動脈瘤 胸部大動脈瘤 大動脈弁輪拡張症 胸腹部大動脈瘤
7	大動脈疾患② 動脈瘤 腹部大動脈瘤 解離性大動脈瘤
8	末梢動脈疾患① 高安動脈炎 閉塞性動脈硬化症 閉塞性血栓血管炎
9	末梢動脈疾患② レイノー症候群 急性動脈閉塞症
10	静脈疾患① 上大静脈症候群 下肢静脈瘤
11	静脈疾患② 深部静脈血栓症 肺血栓塞栓症 リンパ管疾患
12	補助人工心臓 体外設置型 植込み型
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	90%	5%		5%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

臨床工学技士として東京女子医科大学病院に8年間、血液浄化業務、集中治療業務、医療機器管理業務、カテーテル検査・治療業務、手術室業務、補助人工心臓管理業務に従事していた。

【教科書・参考文献】

病気が見えるVol.2循環器 第5版
臨床工学講座 生体機能代行装置学 体外循環装置 第2版(見目 恭一編集、医歯出版株式会社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024	3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
独自科目 必修	演習	第2種ME技術実力検定演習 I (医療機器)	高橋 浩二	有
単位・時間数				
1単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

各分野における臨床工学技士として働くために必要な知識を習得するための講義を行い、第2種ME技術実力検定試験の合格を目標とする。

【講義概要】

第2種ME技術実力検定試験の過去問題を中心に講義を行い、補足事項をスライドにて解説する。

回 授業計画及び学習の内容

1	オリエンテーション・カテーテル・右心カテーテル・心電計関連分野
2	右心カテーテル・心電計関連分野
3	ペースメーカー関連分野
4	IABP関連分野/PCPS関連分野/VAD関連分野
5	IABP関連分野/PCPS関連分野/VAD関連分野
6	特殊感覚系
7	神経系
8	画像診断関連分野
9	画像診断関連分野
10	画像診断関連分野
11	非観血式血圧測定関連分野
12	観血式血圧測定関連分野
13	血液浄化療法関連分野
14	血液浄化療法関連分野
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	80%	0%	0%	20%	0%	100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
 ・必要に応じて小テストを行い、成績に加点することも有り得る。

【教員紹介】

1996年4月に富士重工業株式会社(現:株式会社SUBARU)に入社し、金型設計および金型製作の技術指導等の実務経験有り、2007年5月に自衛隊中央病院に入職し、人工心肺業務・心臓カテーテル(虚血・IVR・不整脈等)業務・ICU業務・血液浄化業務・PM業務・医療機器管理点検業務等の実務経験有り、以上の前職を経て、2022年1月より本校臨床工学科教員に着任

【教科書・参考文献】

- ・最新臨床工学講座 医用治療機器学 第1版
- ・MEの基礎知識と安全管理 改訂第7版
- ・臨床工学技士標準テキスト第4版

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科		2024		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
独自科目 必修	演習	国家試験演習		臨床工学科教員	有	12単位 360時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験過去問演習と、その解説を通じた国家試験合格水準に達する学力を身に着けることを目的とする。

【講義概要】

国家試験出題分野毎に講義し、出題傾向の分析と対策を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	医学概論（医学基礎）
2	医学概論（人の構造と機能）
3	臨床医学総論
4	生体計測装置学（計測基礎）
5	生体計測装置学（電気・磁気計測）
6	生体計測装置学（物理・化学計測）
7	生体計測装置学（画像診断）
8	治療機器学（治療基礎）
9	治療機器学（各種医療機器）
10	安全管理学
11	電気電子工学（電気工学）
12	電気電子工学（電子工学）
13	電気電子工学（システム工学）
14	電気電子工学（情報処理工学）
15	生体機能代行装置学（呼吸療法装置）
16	生体機能代行装置学（体外循環装置・補助循環装置）
17	生体機能代行装置学（血液浄化療法装置）
18	機械工学
19	生体物性材料工学（生体物性）
20	生体物性材料工学（医療材料）

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 (補足)	100%					100%

【教員紹介】

臨床工学科教員

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
医療専門課程		臨床工学科		2024		3年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
独自科目 必修	実習	課外活動Ⅲ		石渡・土屋	無	1単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

種々の活動を通じて他者とのコミュニケーションや共同作業の経験を積むことで、チーム医療の精神を学ぶ。また、各種セミナーや臨床実習発表会への参加により臨床工学技士としての将来像を明確にする。

【講義概要】

学園祭におけるイベント運営やグループワークなど学生主体の体験を重視して実施する。

回	授業計画及び学習の内容
1	進級ガイダンス
2	高気圧酸素療法見学
3	高気圧酸素療法見学
4	高気圧酸素療法見学
5	学園祭準備
6	学園祭準備
7	学園祭
8	学園祭
9	学園祭
10	学園祭
11	学園祭片付け
12	学園祭片付け
13	臨床実習発表会の発表
14	臨床実習発表会の参加
15	在校生向けセミナーの受講

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として全授業回数に対する欠席回数が1/3以上の場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

石渡：本校臨床工学科卒業後、順天堂大学医学部附属浦安病院、医療法人社団嬉泉会嬉泉病院、特定医療法人社団潤恵会敬仁病院、にて勤務。2018年より本校臨床工学科教員として勤務。

土屋：臨床工学技士として東京女子医科大学病院に8年間、血液浄化業務、集中治療業務、医療機器管理業務、カテーテル検査・治療業務、手術室業務、補助人工心臓管理業務に従事していた。

【教科書・参考文献】

適宜配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門基礎 必修	講義	看護学概論	佐藤 安寿	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

医療に携わる者として、その対象者である患者の心理面・身体面についての理解を深め、コミュニケーションスキルを学ぶ／臨床における感染対策の基礎技術について知り、実習を通してその方法を学ぶ

【講義概要】

看護学の知見を通して、患者理解、感染予防対策について学びを深める

回	授業計画及び学習の内容
1	看護と臨床工学技士
2	看護の歴史
3	看護の技術① コミュニケーションに関する技術
4	看護の技術② フィジカルアセスメント
5	看護の技術③ 感染について
6	看護の技術④ 臨床実習に向けて
7	患者について知る① 正常と異常
8	患者について知る② 事例を通して
9	看護過程とクリティカルシンキング
10	看護の視点① 相手の心を知る
11	看護の視点② 患者とは
12	看護の視点③ 対話的関係の自己点検
13	実習① 手洗いとガウンテクニック、滅菌操作①
14	実習② 手洗いとガウンテクニック、滅菌操作②
15	まとめ

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
・原則として欠席回数が1/3以上の場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

陸上自衛隊にて衛生職として各部隊の衛生救護員および健康管理に努める。自衛隊中央病院にて衛生材料業務・歯科衛生業務・手術室看護業務を勤める。また、部隊隊員対象(出張内視鏡検査含)上部・下部内視鏡検査業務を歴任。臨床工学技士法発足後臨床工学技士室の立ち上げと臨床工学技士業務に努め最終業務として病院長の命を受け下士官への指導・人事・業績報告業務を歴任する。

【教科書・参考文献】

プリント配布・PDF掲載

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
医療専門課程		臨床工学科	2024		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	放射線工学	石渡 真由美	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

放射線と放射能の基礎を学ぶ。さらに医療現場で必要となる放射線医療機器と医療技術の基礎知識を習得する

【講義概要】

臨床工学技士の関りが多い様々な画像診断装置を中心に、構造・原理・測定方法などを学び、国家試験の対応が出来る知識を得る。また、多職種の業務についても学び、臨床工学技士として出来る業務を知る。

回	授業計画及び学習の内容
1	画像診断装置・放射線について、多職種との連携について
2	超音波診断装置①（モード、走査法）
3	超音波診断装置②（パルスドプラ法、連続波ドプラ法）
4	内視鏡装置①（ファイバ스코ープ）
5	内視鏡装置②（電子内視鏡）
6	内視鏡装置③（その他）
7	X線画像診断装置①（X線撮影法）
8	X線画像診断装置②（X線撮影法、デジタルX線撮影法）
9	X線画像診断装置③（X線CT）
10	MRI①（原理・撮像法）
11	MRI②（臨床応用）
12	SPECT（原理、その他）
13	PET
14	光トポグラフィ
15	国家試験対策

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

本校臨床工学科卒業後、順天堂大学医学部附属浦安病院、医療法人社団嬉泉会嬉泉病院、特定医療法人社団潤恵会敬仁病院、にて勤務。2018年より本校臨床工学科教員として勤務。

【教科書・参考文献】

臨床工学技士標準テキスト第4版